

医療・介護の現場で30年

日本共産党

鈴木とよこ

医療・介護の現場で三〇年。その間、いっぱい悔しい思いをしてきました。もっと政治がくらしを応援して、福祉をよくしないとあかん！ そのためには「市政を変えたい！」と決意しました。住民が主人公の地域へ！課題を一つひとつ解決するために支援する市政へ、全力を尽くします。

1960年生まれ。大宅診療所と京都市左京南地域包括支援センターで約30年、医療事務、ケアマネジャーとして働く。

いのち・くらしを守る

- 消費税10%増税ストップ。
- 国保料・介護保険料を引き下げます。敬老乗車証を守ります。
- 全員制の中学校給食の実現を。
- 子どもの医療費は中学校卒業まで無料に。

医療・介護・地域福祉の経験生かして

- 認定・給付業務の嘱託職員一三〇人の雇い止めは中止させます。
- ヘルパー難民をつくらない。
- 地域包括支援センターの体制強化。
- 介護福祉職員の処遇改善、地位向上をはかります。

山科区民の足を守る

- 山科南西部から区役所や鉄道駅へのバス路線、山科東部（大塚・大宅）の循環バス路線をつくりまます。

私も推薦します

染色家・京都精華大学名誉教授
高谷 光雄

大宅診療所所長
藤本 眞次

京都府議会議員
本庄 孝夫

全員制の中学校給食を実現する会
三角 礼子

.....

鈴木とよこさんへ
パトントッチを

市会議員 北山ただお

鈴木豊子 検索

国でも京都市政でも自・公の悪政と対決。日本共産党をのばして政治を変えましょう！